

2023 年度 特定非営利活動法人野付・エコ・ネットワーク教育後援会

「野付湾のコクガンとは」のお知らせ！

謎の多いコクガンの生態解明のため、2017 年から GPS 発信機を装着し追跡するなど、最先端の鳥類調査を行ってきた調査グループリーダーの澤裕介氏をお招きして、最新の研究成果をお話していただきます。

日 時 11 月 12 日（日）

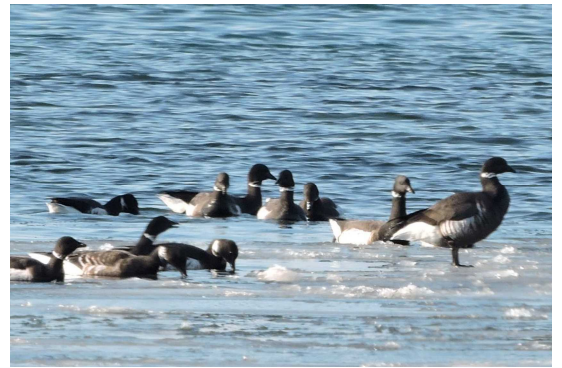
19：00（開演）18：30（開場）

会 場 別海町生涯学習センターみなくる会議室 1・2

主 催 特定非営利活動法人野付・エコ・ネットワーク

後 援 別海町教育委員会

申込先 別海町郷土資料館（電話・FAX にてお願いします。）



ふるさと講座・自然系第 2 回目

「初冬の野鳥観察会-コクガンを観察しよう」のお知らせ！

野付湾を代表する渡り鳥、コクガンの観察会を実施します。

日 時 11 月 18 日（土）9：30～12：30

場 所 野付半島（集合は野付半島ネイチャーセンター）

講 師 特定非営利活動法人野付・エコ・ネットワーク

定 員 10 名（11 月 16 日（木）までに、電話・FAX にてお名前・電話番号をお知らせください。

服装等 防寒着、長靴などを着用してください。

「奥行臼散策デー」を開催しました。

10 月 8 日（日）奥行地区文化財を巡るイベントを開催しました。

乗馬体験、旧奥行臼駅トロッコ乗車体験、別海音頭・野付音頭手踊り披露、別海高校生手作りヨーグルト販売、・奥行地区文化財見どころツアーなどを実施し、多くの方のご来場がありました。



出前移動展「根釧パイロットファーム開拓の歴史」のお知らせ！

別海町の酪農近代化の先駆けとなったパイロットファーム事業についてのパネル展を開催します。

期 間 11月3日（金）～30日（木）

場 所 野付半島ネイチャーセンター

主 催 根釧パイロットファーム開拓資料館・別海町郷土資料館

「メナシのアイヌとともに生きる～加賀伝蔵・松浦武四郎・南摩綱紀～」その3 「加賀伝蔵、メンカクシ・ムンケケらにアイヌ語を学ぶ」

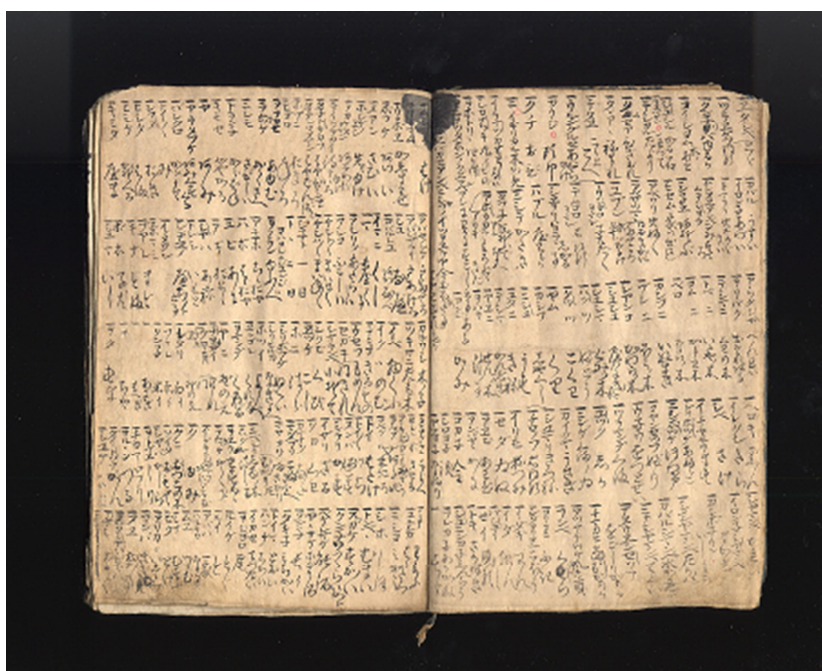
15歳で蝦夷地に渡った伝蔵の最初の勤務地は、釧路場所でした。飯炊きにはじまり、蔵廻り・帳場手伝い、番屋守、止宿守、仮帳役を勤めました。

その間、釧路アイヌのメンカクシ・ムンケケらと和人とアイヌの差別なく日々交わり、親しくなり、アイヌ語の習得とその文化を理解することになります。

伝蔵の釧路場所での記録には、730語におよぶアイヌ語解、釧路地方の地名解、場所内での年中行事のあらまし、各行事に使用するアイヌへの申渡などの記録があります。釧路場所の通辞（アイヌ語通訳）にも師事し、アイヌから聞き取りを行うなど、通辞を目指しその技量を高めていったと思われます。

松前藩通辞の宮内喜太右衛門から「アイヌの言葉は、総て定められている訳ではない、アイヌの言葉がわかるからと言って軽々しく自慢してはいけいない」との手紙をもらい、以来、このことを通辞の心構えとして一生たずさえていたようです。

釧路場所時代の記録から見える伝蔵の動きは、蝦夷地に腰を据え通辞として働き、アイヌとともに生きる決意を固めたことがうかがえます。



「イロハ蝦夷言」釧路時代の資料で、アイヌ語の単語が記録されています。

別海町郷土資料館だより No.292

発行日 令和5年11月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802（FAX 兼）

編集後記 秋の季節となり、沢山の渡り鳥がやって来ました。別海市街では、ヒシクイやオオハクチョウが編隊を組み飛来する姿を見ることが出来ます。今月開催される講演会のコクガンは、その名の通り黒い雁なのですが、首や腹部は白くコントラストが美しい鳥です。講演会や観察会にぜひ、ご参加ください。